



FRANKLIN
TEMPLETON

フランクリン・テンプレトン・ ブラジル国債ファンド (毎月分配型)

運用報告書 (全体版)

第180期 決算日 2023年10月13日

第181期 決算日 2023年11月13日

第182期 決算日 2023年12月13日

第183期 決算日 2024年1月15日

第184期 決算日 2024年2月13日

第185期 決算日 2024年3月13日

－ 受益者のみなさまへ －

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「フランクリン・テンプレトン・ブラジル国債ファンド（毎月分配型）」は、2024年3月13日に第185期の決算を行いましたので、第180期、第181期、第182期、第183期、第184期、第185期の運用状況と収益分配金をご報告申し上げます。
今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

〒100-6536 東京都千代田区丸の内一丁目5番1号

フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社（金融商品取引業者
関東財務局長（金商）第417号）はフランクリン・リソース・インク
傘下の資産運用会社です。

<https://www.franklintempleton.co.jp>

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2008年10月31日設定）	
運用方針	当ファンドは、主に「フランクリン・テンプレトン・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジル・リアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的成長を目指します。	
主要運用対象	当ファンド	「フランクリン・テンプレトン・ブラジル国債マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	フランクリン・テンプレトン・ブラジル国債マザーファンド	ブラジル・リアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
組入制限	外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。	
分配方針	決算日（原則として毎月13日。休業日の場合は翌営業日）に、収益分配方針に基づいて分配を行います。	

当報告書に関するお問い合わせ先：
フランクリン・テンプレトン・ジャパン株式会社

お問い合わせ窓口

電話番号：03-5219-5947

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落 率			
	円	円	%	%	%	百万円	
156期(2021年10月13日)	2,867	15	△ 1.7	98.0	—	23,754	
157期(2021年11月15日)	2,867	15	0.5	97.0	—	23,096	
158期(2021年12月13日)	2,786	15	△ 2.3	96.9	—	21,878	
159期(2022年 1月13日)	2,852	15	2.9	99.2	—	21,838	
160期(2022年 2月14日)	3,020	15	6.4	99.3	—	22,727	
161期(2022年 3月14日)	3,177	15	5.7	98.5	—	23,687	
162期(2022年 4月13日)	3,699	15	16.9	97.5	—	26,921	
163期(2022年 5月13日)	3,465	15	△ 5.9	97.7	—	24,344	
164期(2022年 6月13日)	3,753	15	8.7	96.3	—	25,442	
165期(2022年 7月13日)	3,504	15	△ 6.2	99.4	—	23,293	
166期(2022年 8月15日)	3,670	15	5.2	98.9	—	24,040	
167期(2022年 9月13日)	3,937	15	7.7	98.1	—	24,924	
168期(2022年10月13日)	3,916	15	△ 0.2	98.5	—	24,254	
169期(2022年11月14日)	3,719	15	△ 4.6	98.7	—	22,470	
170期(2022年12月13日)	3,714	15	0.3	99.0	—	22,328	
171期(2023年 1月13日)	3,640	15	△ 1.6	99.2	—	21,676	
172期(2023年 2月13日)	3,648	15	0.6	99.0	—	21,515	
173期(2023年 3月13日)	3,733	15	2.7	99.3	—	21,710	
174期(2023年 4月13日)	3,945	15	6.1	99.3	—	22,810	
175期(2023年 5月15日)	4,042	15	2.8	98.9	—	23,042	
176期(2023年 6月13日)	4,231	15	5.0	98.7	—	23,711	
177期(2023年 7月13日)	4,266	15	1.2	99.3	—	23,194	
178期(2023年 8月14日)	4,420	15	4.0	99.8	—	23,099	
179期(2023年 9月13日)	4,464	15	1.3	99.4	—	23,185	
180期(2023年10月13日)	4,457	15	0.2	98.6	—	23,152	
181期(2023年11月13日)	4,663	15	5.0	98.5	—	24,132	
182期(2023年12月13日)	4,471	15	△ 3.8	98.3	—	22,894	
183期(2024年 1月15日)	4,584	15	2.9	98.9	—	23,157	
184期(2024年 2月13日)	4,632	15	1.4	98.7	—	23,179	
185期(2024年 3月13日)	4,579	15	△ 0.8	98.5	—	22,683	

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			円	%			
第180期	(期 首) 2023年9月13日	4,464	—	—	99.4	—	—
	9月末	4,461	△0.1	—	98.9	—	—
	(期 末) 2023年10月13日	4,472	0.2	—	98.6	—	—
第181期	(期 首) 2023年10月13日	4,457	—	—	98.6	—	—
	10月末	4,454	△0.1	—	98.6	—	—
	(期 末) 2023年11月13日	4,678	5.0	—	98.5	—	—
第182期	(期 首) 2023年11月13日	4,663	—	—	98.5	—	—
	11月末	4,561	△2.2	—	99.0	—	—
	(期 末) 2023年12月13日	4,486	△3.8	—	98.3	—	—
第183期	(期 首) 2023年12月13日	4,471	—	—	98.3	—	—
	12月末	4,481	0.2	—	98.3	—	—
	(期 末) 2024年1月15日	4,599	2.9	—	98.9	—	—
第184期	(期 首) 2024年1月15日	4,584	—	—	98.9	—	—
	1月末	4,586	0.0	—	99.1	—	—
	(期 末) 2024年2月13日	4,647	1.4	—	98.7	—	—
第185期	(期 首) 2024年2月13日	4,632	—	—	98.7	—	—
	2月末	4,670	0.8	—	99.4	—	—
	(期 末) 2024年3月13日	4,594	△0.8	—	98.5	—	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

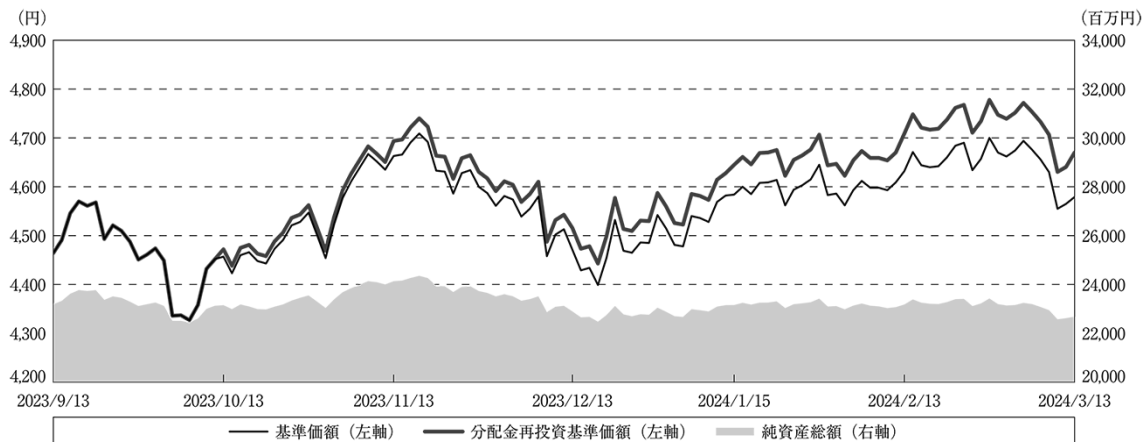
(注) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2023年9月14日～2024年3月13日)



第180期首：4,464円

第185期末：4,579円 (既払分配金(税込み)：90円)

騰落率：4.6% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2023年9月13日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

当作成期の当ファンドのパフォーマンス(騰落率)はプラス(分配金再投資ベース)となりました。

ブラジルの金利水準が相対的に高いことから、公社債利金を手堅く確保したとともに、債券利回りが低下(価格は上昇)する中、公社債損益もプラスとなりました。一方、ブラジルリアル安・円高を反映して、為替損益がマイナスとなりました。

当作成期のブラジル債券市場では、利回りが低下しました。

期の前半は、ブラジル中央銀行 (BCB) が利下げを実施したものの、後日公表された金融政策決定会合の議事要旨では、想定以上に景気が底堅く、サービス価格が高止まりを続けるリスクに警戒が示されたため、BCBの利下げペースの加速期待が後退し、利回りは上昇（価格は下落）しました。また、原油価格が上昇したことも、利回りの上昇要因となりました。

期の半ばは、米インフレ指標の鈍化などを背景に、米連邦準備制度理事会 (FRB) の金融引き締め長期化観測が後退したことから米回国債利回りが低下したため、ブラジル債券利回りも低下しました。また、格付け会社S&Pグローバル・レーティングがブラジルの格付けを引き上げたことも、利回りの低下要因となりました。

期の後半は、財務相が2024年の基礎的財政収支を均衡させる目標の達成に自信を示したことから、財政悪化懸念が和らいだため、利回りは低下しました。しかし、その後は複数のFRB関係者が利下げを巡る慎重な姿勢を示したことから米回国債利回りが上昇し、ブラジルの債券利回りも上昇しました。

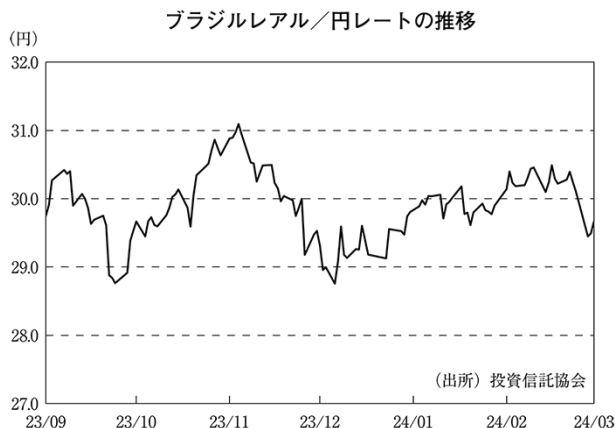


当作成期のブラジルリアル・円相場は、レアル安・円高となりました。

期の前半は、BCB金融政策決定会合議事要旨を受けて利下げペースの加速期待が後退しましたが、BCBが利下げを継続するとの見方が根強いことなどから、レアル売り・円買いが優勢となりました。しかし、その後はブラジルの財政健全化に対する期待を背景に、レアルは対円で上昇に転じました。

期の半ばは、植田日銀総裁などの発言を受け、日銀の金融政策が修正されるとの見方が強まったことや、BCBの利下げを背景に、レアル安・円高が進みました。しかし、その後は日銀が金融政策決定会合で政策の据え置きを決定し、フォワード・ガイダンスなどの見直しも行わなかったことから、レアルは対円で上昇に転じました。

期の後半は、ブラジルの経済指標が底堅かったことなどが、レアル高・円安の要因となりました。しかし、その後はブラジルのインフレ指標が市場予想を下回ったことや、日銀の超緩和的な金融政策の解除期待などを背景に、レアル安・円高に転じました。



当ファンドは、主に「フランクリン・テンブルトン・ブラジル国債マザーファンド」受益証券への投資を通じて、主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。また、外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。当作成期においては、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築しました。

分配金

(2023年9月14日～2024年3月13日)

分配金につきましては、基準価額動向や保有債券の利子収入等を勘案し、以下の通りとさせていただきます。なお、収益分配に充当しなかった利益につきましては信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づき運用を行います。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第180期	第181期	第182期	第183期	第184期	第185期
	2023年9月14日～ 2023年10月13日	2023年10月14日～ 2023年11月13日	2023年11月14日～ 2023年12月13日	2023年12月14日～ 2024年1月15日	2024年1月16日～ 2024年2月13日	2024年2月14日～ 2024年3月13日
当期分配金 (対基準価額比率)	15 0.335%	15 0.321%	15 0.334%	15 0.326%	15 0.323%	15 0.327%
当期の収益	15	15	15	15	15	15
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	601	628	647	673	693	710

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行い、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築してまいります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年9月14日～2024年3月13日)

項 目	第180期～第185期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 38	% 0.848	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(19)	(0.410)	委託した資金の運用の対価
（ 販 売 会 社 ）	(19)	(0.410)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（ 受 託 会 社 ）	(1)	(0.027)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	5	0.099	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(4)	(0.090)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ 印 刷 等 費 用 ）	(0)	(0.006)	印刷等費用は、印刷業者等に支払う法定書類の作成、印刷、交付および届出に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	金銭信託預入に係る手数料等
合 計	43	0.947	
作成期間の平均基準価額は、4,535円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

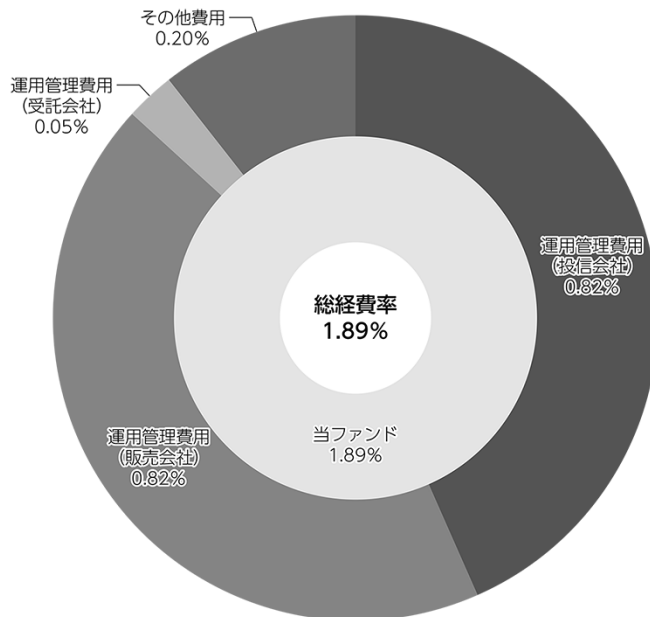
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

作成期間中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間中の平均受益権口数に作成期間中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.89%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2023年9月14日～2024年3月13日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第180期～第185期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド	千口 319,826	千円 816,055	千口 1,003,131	千円 2,570,072

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2023年9月14日～2024年3月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

(2023年9月14日～2024年3月13日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2023年9月14日～2024年3月13日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2024年3月13日現在)

親投資信託残高

銘柄	第179期末	第185期末	
	口数	口数	評価額
フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド	千口 9,391,453	千口 8,708,149	千円 22,789,227

(注) 単位未満は切捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2024年3月13日現在)

項 目	第185期末	
	評 価 額	比 率
フランクリン・templton・ブラジル国債マザーファンド	千円 22,789,227	% 99.9
コール・ローン等、その他	19,872	0.1
投資信託財産総額	22,809,099	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

(注) フランクリン・templton・ブラジル国債マザーファンドにおいて、当作成期末における外貨建純資産(25,302,034千円)の投資信託財産総額(25,708,118千円)に対する比率は98.4%です。

(注) 外貨建資産は、当作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、3月13日における邦貨換算レートは1米ドル=147.53円、1ブラジルリアル=29.6595円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第180期末	第181期末	第182期末	第183期末	第184期末	第185期末
	2023年10月13日現在	2023年11月13日現在	2023年12月13日現在	2024年1月15日現在	2024年2月13日現在	2024年3月13日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	23,278,294,935	24,293,688,492	23,044,889,825	23,290,193,711	23,383,061,676	22,809,099,163
フランクリン・templton・ブラジル国債マザーファンド(附編)	23,263,091,352	24,244,633,449	23,005,213,359	23,268,385,268	23,285,652,218	22,789,227,254
未収入金	15,203,583	49,055,043	39,676,466	21,808,443	97,409,458	19,871,909
(B) 負債	125,858,236	160,896,089	149,931,794	133,017,501	204,055,459	125,881,264
未払収益分配金	77,912,871	77,627,010	76,812,584	75,779,395	75,054,247	74,313,346
未払解約金	15,203,583	49,055,043	39,676,466	21,808,443	97,409,458	19,871,909
未払信託報酬	32,388,508	33,861,721	33,115,092	35,099,855	31,303,572	31,307,283
その他未払費用	353,274	352,315	327,652	329,808	288,182	388,726
(C) 純資産総額(A-B)	23,152,436,699	24,132,792,403	22,894,958,031	23,157,176,210	23,179,006,217	22,683,217,899
元本	51,941,914,323	51,751,340,631	51,208,389,623	50,519,597,309	50,036,164,997	49,542,230,766
次期繰越損益金	△28,789,477,624	△27,618,548,228	△28,313,431,592	△27,362,421,099	△26,857,158,780	△26,859,012,867
(D) 受益権総口数	51,941,914,323口	51,751,340,631口	51,208,389,623口	50,519,597,309口	50,036,164,997口	49,542,230,766口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,457円	4,663円	4,471円	4,584円	4,632円	4,579円

<注記事項>

(注) 元本の状況

当作成期首元本額

51,938,505,618円

当作成期中追加設定元本額

1,792,774,970円

当作成期中一部解約元本額

4,189,049,822円

(注) 元本の欠損

純資産総額が元本額を下回っており、その差額は26,859,012,867円であります。

○損益の状況

項 目	第180期	第181期	第182期	第183期	第184期	第185期
	2023年9月14日～ 2023年10月13日	2023年10月14日～ 2023年11月13日	2023年11月14日～ 2023年12月13日	2023年12月14日～ 2024年1月15日	2024年1月16日～ 2024年2月13日	2024年2月14日～ 2024年3月13日
	円	円	円	円	円	円
(A) 有価証券売買損益	74,917,614	1,172,021,110	△ 873,235,720	681,402,515	349,727,802	△ 161,724,765
売買益	86,018,291	1,180,284,831	5,395,763	689,059,510	353,650,688	2,759,481
売買損	△ 11,100,677	△ 8,263,721	△ 878,631,483	△ 7,656,995	△ 3,922,886	△ 164,484,246
(B) 信託報酬等	△ 32,741,782	△ 34,214,036	△ 33,442,744	△ 35,429,663	△ 31,591,754	△ 31,696,009
(C) 当期繰越益金(A+B)	42,175,832	1,137,807,074	△ 906,678,464	645,972,852	318,136,048	△ 193,420,774
(D) 前期繰越損益金	△ 4,973,127,603	△ 4,933,649,977	△ 3,817,271,247	△ 4,730,382,309	△ 4,102,034,364	△ 3,805,581,144
(E) 追加信託差損益金	△ 23,780,612,982	△ 23,745,078,315	△ 23,512,669,297	△ 23,202,232,247	△ 22,998,206,217	△ 22,785,697,603
(配当等相当額)	(1,120,857,642)	(1,140,549,221)	(1,138,365,959)	(1,126,156,239)	(1,125,538,823)	(1,124,165,700)
(売買損益相当額)	(△24,901,470,624)	(△24,885,627,536)	(△24,651,035,256)	(△24,328,388,486)	(△24,123,745,040)	(△23,909,863,303)
(F) 計(C+D+E)	△ 28,711,564,753	△ 27,540,921,218	△ 28,236,619,008	△ 27,286,641,704	△ 26,782,104,533	△ 26,784,699,521
(G) 収益分配金	△ 77,912,871	△ 77,627,010	△ 76,812,584	△ 75,779,395	△ 75,054,247	△ 74,313,346
次期繰越損益金(F+G)	△ 28,789,477,624	△ 27,618,548,228	△ 28,313,431,592	△ 27,362,421,099	△ 26,857,158,780	△ 26,859,012,867
追加信託差損益金	△ 23,780,612,982	△ 23,745,078,315	△ 23,512,669,297	△ 23,202,232,247	△ 22,998,206,217	△ 22,785,697,603
(配当等相当額)	(1,121,945,054)	(1,141,864,664)	(1,138,842,802)	(1,126,287,481)	(1,126,003,689)	(1,124,528,809)
(売買損益相当額)	(△24,902,558,036)	(△24,886,942,979)	(△24,651,512,099)	(△24,328,519,728)	(△24,124,209,906)	(△23,910,226,412)
分配準備積立金	2,002,377,988	2,111,285,746	2,175,892,418	2,274,553,986	2,343,491,347	2,396,195,191
繰越損益金	△ 7,011,242,630	△ 5,984,755,659	△ 6,976,654,713	△ 6,434,742,838	△ 6,202,443,910	△ 6,469,510,455

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託するために要する費用として、委託者報酬のうち販売会社へ支払う手数料を除いた額の100分の96相当額を支払っております。

<分配金の計算過程>

決 算 期	第180期	第181期	第182期	第183期	第184期	第185期
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益(費用控除後)	185,037,347	216,603,099	172,051,077	206,339,915	175,787,167	159,428,958
(B) 有価証券売買等損益 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0	0	0	0	0	0
(C) 収益調整金	1,121,945,054	1,141,864,664	1,138,842,802	1,126,287,481	1,126,003,689	1,124,528,809
(D) 分配準備積立金	1,895,253,512	1,972,309,657	2,080,653,925	2,143,993,466	2,242,758,427	2,311,079,579
分配対象収益額(A+B+C+D)	3,202,235,913	3,330,777,420	3,391,547,804	3,476,620,862	3,544,549,283	3,595,037,346
(1万円当たり収益分配対象額)	(616)	(643)	(662)	(688)	(708)	(725)
収益分配金	77,912,871	77,627,010	76,812,584	75,779,395	75,054,247	74,313,346
(1万円当たり収益分配金)	(15)	(15)	(15)	(15)	(15)	(15)

○分配金のお知らせ

	第180期	第181期	第182期	第183期	第184期	第185期
1万口当たり分配金(税込み)	15円	15円	15円	15円	15円	15円

◇分配金をお支払いする場合

分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

◇分配金を再投資する場合

お手持り分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰入れて再投資いたします。

◇分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により普通分配金と元本払戻金（特別分配金）に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。

分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。

◇元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

<お知らせ>

<主な約款変更に関するお知らせ>

デリバティブ取引の利用目的を明確化し、価格変動などのリスクを回避するため並びに投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現するための利用に限定する変更を行いました。

(変更日：2023年12月14日)

フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド

運用状況のご報告

第16期 決算日 2024年3月13日

(計算期間：2023年3月14日～2024年3月13日)

－ 受益者のみなさまへ －

法令・諸規則に基づき、「フランクリン・テンプルトン・ブラジル国債マザーファンド」の第16期の運用状況をご報告申し上げます。

◇当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類	親投資信託
信 託 期 間	無期限（2008年10月31日設定）
運 用 方 針	1. 主としてブラジル・リアル建てのブラジル国債を中心に投資を行います。 2. 原則として外貨建資産の為替ヘッジを行いません。 3. 債券の流動性や残存年数に配慮しながらポートフォリオを構築します。
主 要 運 用 対 象	ブラジル・リアル建てのブラジル国債を主要投資対象とします。
組 入 制 限	外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率	純資産額
		期騰	落中率			
12期(2020年3月13日)	円 14,082		% △19.2	% 97.3	% —	百万円 46,112
13期(2021年3月15日)	13,415		△ 4.7	97.7	—	32,984
14期(2022年3月14日)	16,047		19.6	97.9	—	28,484
15期(2023年3月13日)	20,137		25.5	98.8	—	24,983
16期(2024年3月13日)	26,170		30.0	98.1	—	25,682

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

(注) 市場に広く認知されているベンチマーク等で、当ファンドのリスク特性を正確に反映する指標が見当たらないため、現状では、当ファンドの収益率およびリスク特性を特定のベンチマーク等と比較しておりません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	騰落率		債組入比率	債券先物比率
		騰	落率		
(期首) 2023年3月13日	円 20,137		% —	% 98.8	% —
3月末	20,607		2.3	99.2	—
4月末	21,310		5.8	98.7	—
5月末	22,262		10.6	98.8	—
6月末	24,252		20.4	98.5	—
7月末	24,480		21.6	99.4	—
8月末	24,819		23.3	98.9	—
9月末	24,810		23.2	98.8	—
10月末	24,888		23.6	98.5	—
11月末	25,607		27.2	98.9	—
12月末	25,276		25.5	98.2	—
2024年1月末	25,990		29.1	99.0	—
2月末	26,589		32.0	99.3	—
(期末) 2024年3月13日	26,170		30.0	98.1	—

(注) 騰落率は期首比です。

(注) 債券先物比率は買建比率－売建比率。

○運用経過

期中の基準価額等の推移

(2023年3月14日～2024年3月13日)



○基準価額の変動要因

当期の当ファンドのパフォーマンス（騰落率）はプラスとなりました。ブラジルの金利水準が相対的に高いことから、公社債利金を手堅く確保し、債券利回りが低下（価格は上昇）する中、公社債損益もプラスとなりました。ブラジルリアル高・円安を反映して為替損益もプラスとなりました。

当期のブラジル債券市場では、利回りが低下しました。

期の前半は、政府が発表した新たな財政枠組み案が好感され、利回りは低下しました。その後、市場では2023年8月にもブラジル中央銀行 (BCB) の利下げが開始されるとの期待が高まったことから、利回りは一段と低下しました。

期の半ばは、格付け会社フィッチ・レーティングスが新たな財政枠組みの導入と更なる改革への期待を背景に、ブラジルの格付けをBB- (マイナス) からBBに引き上げたことから、利回りは低下しました。また、BCBはインフレ懸念の後退等を背景に利下げを開始しました。しかし、その後は原油先物価格が上昇したことから、利回りも上昇 (価格は下落) に転じました。

期の後半は、格付け会社S & Pグローバル・レーティングがブラジルの格付けを引き上げたことから、利回りは低下しました。しかし、その後は複数の米連邦準備制度理事会 (FRB) 関係者が利下げを巡る慎重な姿勢を示したことから米国債券利回りが上昇し、ブラジルの債券利回りも上昇しました。

当期のブラジルリアル・円相場は、リアル高・円安となりました。

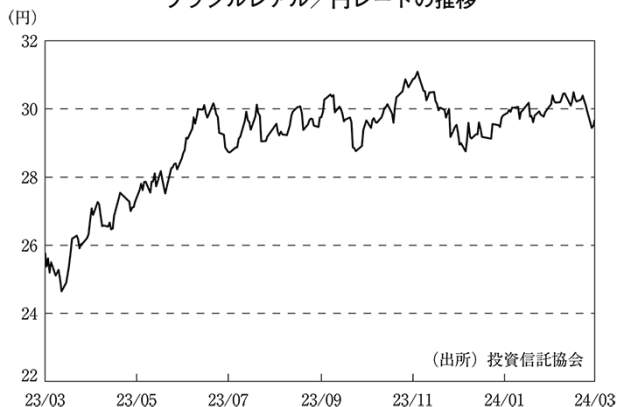
期の前半は、欧米当局による金融システム不安に対する積極的な対応により、投資家のリスク回避姿勢が薄れたことがリアル高・円安要因となりました。また、ブラジルの税制改革の進展により、格付け会社S & Pグローバル・レーティングがブラジルの格付け見通しをポジティブに変更したことなどから、リアル高・円安が一段と進行しました。

期の半ばは、格付け会社フィッチ・レーティングスによるブラジルの格上げなどを背景に、リアルは上昇基調となりました。しかし、その後はBCBが利下げを継続するとの見方が根強いことなどから、リアルは対円で上値の重い展開が続

ブラジル国債 (2年物) 利回りの推移



ブラジルリアル/円レートの推移



きました。

期の後半は、植田日銀総裁などの発言を受け、日銀の金融政策が修正されるとの見方が強まったことや、BCBの利下げを背景に、リアル安・円高が進みました。しかし、その後は日銀が金融政策決定会合で政策の据え置きを決定し、フォワード・ガイダンスなどの見直しも行わなかったことから、リアルは対円で上昇に転じました。

当ファンドのポートフォリオ

当ファンドは、主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行うことにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用に努めてまいりました。当期においては、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築しました。

○今後の運用方針

主にブラジルリアル建てのブラジル国債に投資を行い、債券の流動性や残存年数に配慮しながら、引き続きポートフォリオを構築してまいります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2023年3月14日～2024年3月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 42	% 0.174	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(42)	(0.174)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.000)	金銭信託預入に係る手数料等
合 計	42	0.174	
期中の平均基準価額は、24,240円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2023年3月14日～2024年3月13日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	ブラジル	国債証券	千ブラジルリアル 878,619	千ブラジルリアル 919,335 (172,100)

(注) 金額は受渡し代金。(経過利息分は含まれておりません。)

(注) 単位未満は切捨て。

(注) ()内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○ 利害関係人との取引状況等

(2023年3月14日～2024年3月13日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2024年3月13日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円	%	%	%	%	%
ブラジル	909,850	849,258	25,188,577	98.1	98.1	—	3.0	95.1
合 計	909,850	849,258	25,188,577	98.1	98.1	—	3.0	95.1

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 単位未満は切捨て。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
ブラジル		%	千ブラジルレアル	千ブラジルレアル	千円		
	国債証券						
合 計							

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 額面・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2024年3月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	25,188,577	98.0
コール・ローン等、その他	519,541	2.0
投資信託財産総額	25,708,118	100.0

(注) 金額の単位未満は切捨て。

(注) 当期末における外貨建純資産(25,302,034千円)の投資信託財産総額(25,708,118千円)に対する比率は98.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、3月13日における邦貨換算レートは1米ドル=147.53円、1ブラジルレアル=29.6595円です。

○特定資産の価格等の調査

(2023年3月14日～2024年3月13日)

該当事項はございません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2024年3月13日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	25,708,118,842
コール・ローン等	441,623,031
公社債(評価額)	25,188,577,967
未収利息	77,917,844
(B) 負債	25,274,283
未払解約金	25,273,316
未払利息	967
(C) 純資産総額(A-B)	25,682,844,559
元本	9,813,862,595
次期繰越損益金	15,868,981,964
(D) 受益権総口数	9,813,862,595口
1万口当たり基準価額(C/D)	26,170円

<注記事項>

(注) 元本の状況

期首元本額	12,406,634,123円
期中追加設定元本額	658,104,983円
期中一部解約元本額	3,250,876,511円

(注) 期末における元本の内訳

フランクリン・テンプレトン・ブラジル国債ファンド(毎月分配型)	8,708,149,505円
フランクリン・テンプレトン・ブラジル国債ファンド(年2回決算型)	1,105,713,090円

○損益の状況 (2023年3月14日～2024年3月13日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	3,068,404,405
受取利息	3,068,651,987
支払利息	△ 247,582
(B) 有価証券売買損益	3,839,421,351
売買益	3,877,218,122
売買損	△ 37,796,771
(C) 保管費用等	△ 45,952,447
(D) 当期損益金(A+B+C)	6,861,873,309
(E) 前期繰越損益金	12,576,762,899
(F) 追加信託差損益金	955,627,832
(G) 解約差損益金	△ 4,525,282,076
(H) 計(D+E+F+G)	15,868,981,964
次期繰越損益金(H)	15,868,981,964

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

<主な約款変更に関するお知らせ>

デリバティブ取引の利用目的を明確化し、価格変動などのリスクを回避するため並びに投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現するための利用に限定する変更を行いました。

(変更日：2023年12月14日)